

16. 舞子公園駅＜淡路方面乗り換え、旧明石藩砲台跡＞

舞子公園駅は乗降客が2600人程。特急は全て停車するが通勤時間帯のS特急は停車しない。対式2面の駅で橋上駅舎になっており、エレベータもそろっている。面白いのは北側はそのまま緩いスロープで道路に出ているが南へは階段、もしくはエレベータが必要である。傾斜地沿った駅というのがよくわかる、JR舞子駅と接続しており舞子高速バスストップの最寄り駅で、淡路島方面、四国方面の高速バスに乗り換えることができる。この駅周辺では旧有栖川宮の別邸跡（建物は一切なく鉄筋コンクリート製の舞子ビラがあるのみ。）、旧日下邸の舞子ホテル、孫文記念館（移情閣）などが見どころではあるが、旧明石藩の舞子砲台跡を紹介する。2825年、相次ぐ欧米列強の外国船の来航に対して、海防強化のため「異国船打払令」がだされ、14代将軍徳川家茂の巡視に先立ち、1万両の貸し付けを行って明石藩に淡路島の岩屋（松帆の台場）と挟み撃ちの形で砲台を作らせた。勝海舟の指導などを受けたとのことであるが実際に大砲が据え付けられることももちろん使われることもなかった。

現在は明石海峡大橋と淡路島を眺める絶景のポイントになっている。

写真の大砲はイミテーションで大砲据え付け位置を示している。



(宮本英希 記)